

上熊坂育成会だより

平成二十八年年度を振り返って

上熊坂育成会会長

城条 ちづ子

NO 43号

平成29年3月発行

上熊坂区の皆様には、育成会活動にご協力をいただきありがとうございます。育成会の大きな活動としましては、まず夏祭り、夏休みの七沢森林公園ハイク、町一周駅伝、どんど焼きほか、多くの行事がありますが、関係役員さんのお陰で、無事すべて終わることができました。

その中で一つ内容を紹介させていただくと、町一周駅伝ですが、21行政区のチームが激突し、町全体が大変盛り上がる最大のイベントです。

毎年秋十月頃、選手になっていただきたい方々の自宅を役員でお願いにまわります。すぐに回答をいただけるお宅と留守のお宅と何回かうかがうお宅もあります。なかなか選手の方々を探すのは、むずかしく、学を卒業して愛川町から出て行ってしまおう方が多く、なやみ所です。どうか皆様区民の方で走ってみたいなあと思う方をごぞんじでしたらぜひ育成会にご連絡いただきたいと思います。その後、結団式を行い、週一度の練習や試走を行い、大会に向かいます。

今年度の結果はAチーム6位、Bチーム19位という結果でした。6位入賞はじつに7年ぶりです。区民の皆様、ご声援ありがとうございました。

上熊坂育成会は、次年度から2年かけて、組織の見直しを実施してまいります。どのような組織であれば将来的に長く存続できるのか、検討してまいります。

来年度の活動にも皆様のご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

特集 育成会活動を考える

《育成会の後継者不足深刻》

昨年度は、愛川町の子ども会加入率の低下をテーマとしましたが、今年は育成会の存続を取り上げます。町内21行政区には必ず1つずつ青少年育成会が存在します。

長いところでは、43年活動している会もありますが、上熊坂育成会は、昭和52年発足です。40年続いていることになり、しかし、今の役員になりたがらないといった風潮は育成会役員も例外ではありませぬ。組織を維持するため、30年ちかく役員を続けていられる方もいます。したがって役員の高齢化は当然やってくる。

新規の役員が増えても、夫婦共働きや残業等でなかなか活動に参加していただかず、自然退会といったケースが増えていきます。

子ども会が育成会に吸収され、増々役員の負担が増大してきます。

これから2年をかけ、活動の継続策を真剣に考えていきます。

区民の皆様のご支援をよろしくお願いします。

どんど焼きの存続も検討中



夏祭りの模擬店に出店

